

峡北地域で車検整備を続けて40年、決意を新たに!

創立40周年記念式典を開催

峡北自動車整備協業組合(末木基治理事長 組合員13社)は2月25日、北杜市の大泉八ヶ岳ロイヤルホテルで「創立40周年記念式典」を開催、組合関係者ら50名が出席し、40年を迎えた組合の更なる発展に向け決意を新たにしました。

当組合は、峡北地域の自動車整備工場が集まり



式典で式辞を述べる末木理事長

昭和52年2月に設立され、共同施設として自動車車検整備ができる指定工場を立ち上げ、組合員等から持ちこまれる車両の車検整備を行ってきた。

式典の式辞の中で末木理事長は、これまでの組合の変遷に触れながら「組合設立40年の中で世代交代が進み、各社とも後継者へと経営が引き継がれはじめています。これからは若い世代が組合の目的を真剣に考え、組合・組合員の健全な発展をどう目指していくかが課題となる。また、ハイブリッド車をはじめとする次世代自動車の普及に伴い高度な整備技術が求められていることから、職員・組合員がともに新たな技術の習得に努めるとともに、法令遵守と不正改造の排除に向けた取り組みも継続していく。」と述べた。

当日は、歴代の理事長と永年にわたり組合運営に尽力してきた職員に対して、感謝状と記念品が贈呈

● 峡北自動車整備協業組合

TOPICS

された。式典後に開かれた祝宴式では、地元の吹奏楽団に所属する理事によるトランペット演奏や甲府市出身の歌手による歌謡ショーが催されるなど40周年に花を添えた。

また、創立40周年にあわせて記念誌も発刊し、40年間の組合の歩みとともに組合整備工場の設備の充実過程、歴代の役員や事務局長などの、永い組合活動の一端を知る資料ともなった。

組合では末木理事長の提案で、「同等一栄(仲間には皆お互いに協力しながら同じように栄える)」を組合の行動指針として掲げ、40周年を機に改めて組合の存在意義を再考し、組合に関わるすべての人たちが等しく栄えていける組織を目指し活動していく。



40周年にあわせて記念誌を製作